

②沿革

大正	13年	3月	大宮町立図書館、大宮小学校内に開館	
		6月	野田村立簡易図書館、野田小学校内に開館 大谷村立大谷図書館、大谷小学校内に開館	
	8月	8月	谷田村立図書館、谷田小学校内に開館	
		8月	尾間木村立大谷図書館、尾間木小学校内に開館 大門村立図書館、大門小学校内に開館 与野町立図書館、与野小学校内に開館	
	14年	9月	浦和町立少年図書館、浦和小学校内に開館	
			植水村立図書館、植水小学校内に開館	
	昭和	3年		七里村立図書館、七里小学校内に開館
				岩槻町立岩槻図書館、岩槻小学校内に開館
		4年		片柳図書館、片柳小学校内に開館
				三室村立三室図書館、三室小学校内に開館
9年			浦和市立第二少年図書館、常盤小学校内に開館	
			浦和市立第五図書館、本太小学校内に開館	
44年		6月	与野市公民館図書室開設	
46年		4月	与野市図書館開館	
		9月	岩槻市立中央図書館開館	
47年		7月	移動図書館「なかよし号」（与野）巡回開始	
48年		2月	大宮市立図書館（のち大宮図書館に改称）、高鼻町に新館開館	
		7月	移動図書館「ほたる号」（大宮）巡回開始	
49年		1月	浦和市立図書館（のち北浦和図書館に改称）開館	
		4月	移動図書館「しらさぎ号」（浦和）巡回開始	
		9月	配本所（東大宮）開室、以下順次開室	
50年		10月	移動図書館「こだま号」（岩槻）巡回開始	
51年		10月	浦和市立図書館中央分館（のち北浦和図書館東高砂分館に改称）開館	
53年		5月	岩槻市立中央図書館（のち岩槻図書館に改称）新館開館	
53年		10月	与野市図書館南分館、大戸小学校内に開設	
56年		12月	与野市図書館（のち与野図書館に改称）新館開館	
60年	8月	浦和市立南浦和図書館開館		
61年	4月	与野市図書館南分館（のち与野図書館南分館、与野南図書館に改称）新館開館		
62年	6月	大宮市立西部図書館（のち大宮西部図書館に改称）開館		
平成	4年	6月	大宮市立東図書館（のち大宮東図書館に改称）開館	
		10月	与野市図書館西分館（のち与野図書館西分館に改称）開館	
	5年	3月	移動図書館「なかよし号」廃止	
	6年	10月	4市1町（浦和・大宮・上尾・与野・伊奈）広域利用開始	
		7年	1月	浦和市図書館、戸田市図書館と相互利用開始
	8年	4月	浦和市図書館、川口市図書館と相互利用開始	
		4月	岩槻市立岩槻駅東口図書館開館	
	9年	4月	浦和市図書館、蕨市図書館と相互利用開始	
		4月	浦和市立東浦和図書館開館	
	10年	4月	岩槻市立東部図書館（のち岩槻東部図書館に改称）開館	
		6月	大宮市立春野図書館開館	
	12年	5月	大宮市立西部図書館三橋分館（のち大宮西部図書館三橋分館に改称）開館	
7月		大宮市立七里図書館開館 大宮市立宮原図書館開館		

②沿革

平成	13年	5月	さいたま市誕生
		11月	さいたま市図書館協議会発足 さいたま市視聴覚ライブラリー運営委員会発足
	14年	7月	馬宮図書館開館
	15年	4月	政令指定都市へ移行
	16年	7月	桜木図書館開館
	17年	3月	新コンピュータシステム稼動（システムの一元化）
		4月	岩槻市編入 岩槻図書館、岩槻駅東口図書館、岩槻東部図書館が 加わり、さいたま市図書館19館に
		6月	インターネット予約開始
		7月	桜図書館開館
	18年	1月	岩槻区のシステムを統合
		3月	移動図書館「こだま号」廃止 移動図書館「しらさぎ号」が「こだま号」担当駐車場の巡回開始
		4月	3市（川越・春日部・蓮田）広域利用開始
		5月	片柳図書館開館
		9月～	アスベスト除去工事（大宮図書館、岩槻図書館、南浦和図書館）
	11月		移動図書館「ほたる号」廃止、「宝くじ号」巡回開始
	19年	4月	桜図書館大久保東分館開館 与野図書館南分館が与野南図書館に昇格
		5月	市内9館と3分館にて、窓口業務（貸出、返本、書架整理等の 定型的業務）委託開始
		9月	北浦和図書館東高砂分館閉館
	11月		中央図書館開館
			図書館組織の再編成 （中央図書館、拠点図書館、地区図書館・分館の3構成になる）
	12月		移動図書館「しらさぎ号」廃止 移動図書館「宝くじ号」が「しらさぎ号」担当駐車場の巡回開始
	20年	4月	市内3分館の全面窓口業務委託開始
		5月	北図書館開館（設計と建設はPFI事業で実施）
			視聴覚ライブラリーの統合、リニューアルオープン
	21年	2月	アスベスト除去工事（北浦和図書館）